

事業所名	放課後等デイサービスそよ風心咲		公表日		令和7年 3月 21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		更衣や排泄の際タイミングを工夫してスペースを有効活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	1	強度行動障害の判定がある方には必ず職員が一人ついて対応し、適切な支援が提供できるように努めている。	・職員のスキルでカバーしきれない場面もあるため、人員を増やしていく。(令和7年4月より入職予定者入り)
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		ホワイトボードなどで視覚的にわかりやすい伝えを行っている。 子どもの特性に合わせたスケジュールの伝え方等、工夫して実践できている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	3	毎日の清掃、換気など、標準予防策を心掛けている。	・改善されているが、清潔空間への意識が職員間で差があるためマニュアル化を進めている。 ・畳、砂壁で清掃しても衛生的に汚れやすい場所がある。 ⇒令和7年3月に内装工事を実施し床と壁を新調している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		活動の内容によって場所を変えることができるほか、クールダウン用のスペースの確保もできている。子どもの選択の自由が尊重される空間のある環境になっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		毎日の振り返りでPDCAサイクルを行っている。ミーティング内容を回覧し情報共有も行うことができている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		ホームページに評価表を掲載している。 その他、面談時に保護者からの意向等についても聞き取りを行い、サービス提供に活かしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		ミーティング時等に報連相を密に行うことができている。改善点についても積極的に意見を交わして業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		現在、外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		適切に研修の機会を設けて実施している。	事業所ごとの開催となっている。 年間研修計画を見直し、様々な題材を用いて支援の質の向上を図っていく。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ホームページにて、いつでも確認できるようになっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		見学や体験利用などを設けて、アセスメントを行うようにしている。また、定期的にアセスメントシートを更新して個別支援計画に反映させるようにしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		原案会議などを適切に行い、こどもの特性や家庭環境においての理解をもって支援にあたるように努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			

な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節感を取り入れながら活動を提供することができている。 題材が同じでもアレンジを加えて、子どもたちが飽きない活動の提供ができている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		一人一人の特性に合わせて、無理のない範囲で個別と集団を組み合わせ支援を行っている。	個別の活動を提供する際、個々に合わせた教具や知育玩具の準備や適切に提供するための人員不足を感じることもある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		活動の目的の共有と役割分担については事前に行うとともに、臨機応変に対応できるよう職員間でコミュニケーションを図りながら対応するように努めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		翌日の朝に支援の振り返りを行い、内容についてもミーティング内容を回覧するなどの工夫を行い情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		気づきを共有し、ミーティング時に改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		最低でも半年に1回のモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		個別と集団の活動を組み合わせながら、一人一人の支援のプログラムになっている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		集団活動の参加には自己選択、意思決定に配慮を行い支援している。その中でも利用者一人一人が意欲的に参加できるような誘い掛けや情報の伝えに工夫を行うことで「みんなで活動する時間」を共有することができている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者が参画するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		LINEなどを活用して、ご家族との情報共有がしやすいように工夫している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		卒業前の担当者会議等にて支援経過について情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4			地域の学校に通う利用者が多いので児童クラブなどとの交流の機会は設けていませんでした。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2			
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			見学時や契約時に説明を行っています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4		令和7年度は開催し、保護者様同士の交流の機会を設けていく予定です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	地域のお祭りなどに参加するなど、地域のイベントに参加するようにしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		アセスメント時に聞き取りを行い、おくすり手帳や処方箋などの写しを事業所に提出していただいている。てんかん発作についても対処の仕方についてフローチャートを作成し職員間で共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		職員間での対応力のバラつきをなくしていくため、研修の機会が多く設けていく必要がある。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		訓練内容の充実や、周知に課題がある。今後、研修内容についての周知徹底を図っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		研修や委員会の開催を行い、虐待防止に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				